

レインボーバス等に関するアンケート結果について

議題資料1-1(アンケート結果)、1-2(アンケート調査票)と併せてご参照ください。ここでのページ数は資料1-1のもので、一部のページを補足説明させていただいております。

(1～3ページ)

アンケートは、公共交通、特にレインボーバスを利用している人からの意見をより多く収集することで、アンケートの回答率を上げるとともに、直接配布を行いました。レインボーバスの利用者に対しては幅広く配布するため、平日・土・日のレインボーバスの第1便～第8便まで満遍なく配布しました。

(12ページ)

問4.レインボーバスの利用頻度について、レインボーバスを利用したことがない人は246人(34.4%)であり、その内152人が「車やバイク、自転車」といった代替手段があるためレインボーバスを利用したことがないと回答しています。利用したことがないと回答した人の高齢化が進むにつれ、レインボーバスを必要とする人が増加することも考えられます。

(14～26ページ)

レインボーバスの利用目的は、「買い物」・「通院」が多く、公共施設へのアクセスだけでなく、ふだんの生活交通としての側面もうかがえることがわかります。

「レインボーバスに対する考え」については、レインボーバス利用者からは「現状維持」を望む一方、ルートや料金の見直しの必要性を考えていることがわかりました。

(27～34ページ)

「富田林駅周辺～金剛駅周辺」のいわゆる東西交通について、「レインボーバスを利用する」人が多い傾向にあること、また、レインボーバス沿線の公共施設へは、レインボーバスを利用されている傾向にあることがわかりましたが、「富田林病院・保健センター」については、レインボーバスより施設送迎バス(病院患者送迎バス)を利用する割合が多いこともわかりました。

「地域公共交通は地域にとって大切か」については、約8割が「そう思う」といった肯定的な意見があり、交通不便地域対策や既存路線の維持に税金を使うことを望む方が多いことがわかりました。

※ 今回は「速報」として集計したものであり、今後、委員の皆さまのご意見も参考に、クロス集計も含めた詳細なアンケート結果を随時報告する予定です。

以上